

あたらしいを、あたりまえに

J:COM

News Release

2022年10月27日
JCOM 株式会社
株式会社ジェイコム埼玉・東日本

「J:COM presents 2022 ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」 11月6日(日)14時30分から「J:テレ」で生中継 地域情報アプリ「ど・ろーかる」でも無料ライブ配信



<前回大会の様子> ©Yuzuru SUNADA / ©SSC

JCOM 株式会社(J:COM、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:岩木 陽一)は、2022年11月6日(日)に開催される「J:COM presents 2022 ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」(以下「さいたまクリテリウム」)のプレゼンティングスポンサーを務め、J:COM のコミュニティチャンネル「J:テレ」で大会の様態を生中継します。さらに地域情報アプリ「ど・ろーかる」(無料)でもライブ配信*1します。

*1…通信料はお客さまのご負担となります。

「さいたまクリテリウム」は世界最高峰のサイクルロードレース「ツール・ド・フランス」の名を冠した世界初の大会です。「ツール・ド・フランス」の総合優勝選手をはじめとした世界屈指のロードレーサーが一堂に会し、さいたま新都心周辺の特設コースにおいて熱戦を繰り広げます。スーパースターの走りを間近に体感できる機会ということで、近年国内外のサイクルファンからの認知度・注目度も高まっています。2020年、2021年は新型コロナウイルスの感染拡大により見送りとなりましたが、今年は3年ぶり8回目の開催が実現しました。

J:COM は、2015年大会からプレゼンティングスポンサーを務めており、本大会においても大会全体をサポートするとともに「J:テレ」での放送、「ど・ろーかる」での配信を通して、当日来場できない方にも本大会をお楽しみいただけるよう、「さいたまクリテリウム」の魅力を発信いたします。

J:COM は、グループをあげてサイクルロードレースの魅力と感動を発信するとともに、大会と地域社会の発展に貢献してまいります。

<概要:放送>

番組名	『J:COM presents 2022 ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム』
放送日時	2022年11月6日(日) 14:30~17:30
放送チャンネル	「J:テレ」 《チャンネル番号》 札幌・仙台・関東エリア:10ch、関西・福岡エリア:12ch 下関エリア:111ch、熊本エリア:11ch ※大分ケーブルテレコムエリアでは、J:COMチャンネル大分(111ch)で放送予定です。 《視聴可能エリア》全国のJ:COMサービスエリア 「J:COM」の有料サービスの加入・未加入を問わず、「J:COM」のネットワークが接続されている建物にお住まいであれば、無料で視聴いただけます。《視聴可能エリアを確認するには》 https://www.jcom.co.jp/area_search/ ※サービスエリア内でも一部ご視聴になれない地域がございます。

<概要:ライブ配信>

配信日時	2022年11月6日(日) 14:30~17:30
視聴方法	◆地域情報アプリ「ど・ろーかる」(無料) 無料 ※通信料はお客様のご負担となります。 Android「Google Playストア」/ iPhone「App Store」にて「ど・ろーかる」で検索 《アプリ詳細、インストールはこちら》 http://c.myjcom.jp/rd/dolocal.html?cid=my_dolocal-004

JCOM 株式会社について www.jcom.co.jp/

JCOM 株式会社(ブランド名 J:COM、本社:東京都千代田区)は、1995年に設立された国内最大手のケーブルテレビ事業・番組供給事業統括運営会社です。ケーブルテレビ事業は、札幌、仙台、関東、関西、九州・山口エリアの11社65局を通じて約562万世帯のお客様にケーブルテレビ、高速インターネット接続、電話、モバイル、電力、ホームIoT等のサービスを提供しています。ホームパス世帯(敷設工事が済み、いつでも加入いただける世帯)は約2,209万世帯です。番組供給事業においては、14の専門チャンネルに出資及び運営を行い、ケーブルテレビ、衛星放送、IPマルチキャスト放送等への番組供給を中心としたコンテンツ事業を統括しています。

※世帯数は2022年9月末現在の数字です。